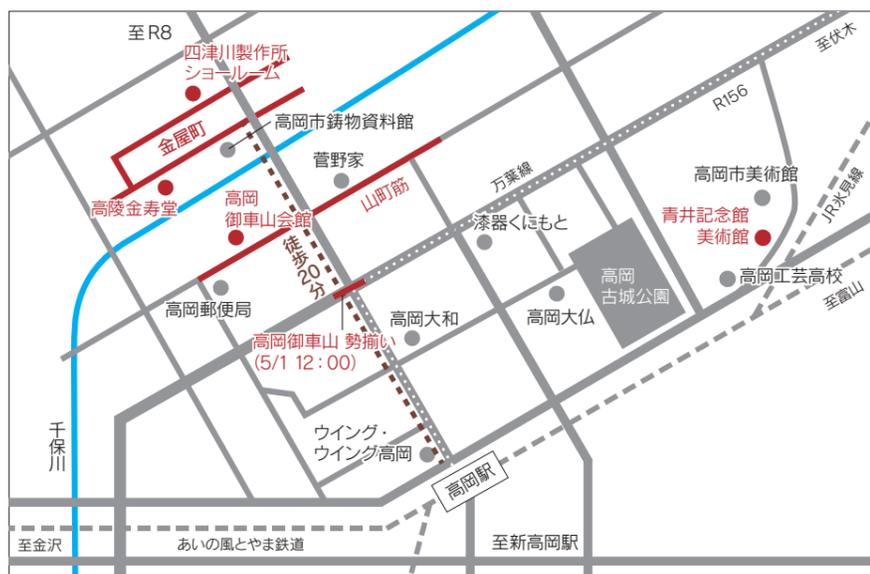


## 交通インフォメーション

<b>電車 (JR)</b> 東京駅 北陸新幹線かがやき・はくたか 最速2時間20分 大阪駅 サンダーバード 金沢駅 北陸新幹線 つるぎ14分		新高岡駅
<b>飛行機</b> 羽田空港 全日空 1時間 富山きとくと空港		
<b>自動車</b> 線馬ICから 関越自動車道 78.6km 藤岡 JCT 上信越自動車道 204.7km 上越 JCT 北陸自動車道 138.3km 高岡IC		高岡IC
吹田ICから 名神高速 109.5km 米原 JCT 北陸自動車道 203.3km 小矢部 砺波 JCT 能越自動車道 13.7km		

高岡への詳しい交通アクセスについては、  
高岡市観光ポータルサイト「たかおか道しるべ」を  
ご覧ください。

## 高岡市中心部マップ



## 写真提供・取材協力 (50音順・敬称略)

アルベキ社	大治将典	國本耕太郎
一般社団法人 CREP4	高陵金寿堂	佐々木伸佳
下尾和彦・下尾さおり	大和高岡店	大和富山店
高岡市観光交流課	高岡市教育委員会文化財課	高岡市産業企画課
高岡漆器株式会社	高岡市美術館	高岡商工会議所
高岡伝統産業青年会	株式会社 高田製作所	富山県立高岡工芸高等学校
株式会社 能作	羽田純	株式会社 二上
二上射水神社	松原博	望月未来
有限会社 モメンタムファクトリー・Orii	有限会社 四津川製作所	

## 表紙の写真

**「双鯛彫刻漆器大盆」青井記念館美術館蔵**

富山県工芸学校の初代校長、納富介次郎がデザインし、村上九郎作が製作したと伝えられるもので、高岡漆器業界に大きな影響を与えた鯛盆の原点。二匹の鯛が抱き合う「二匹鯛」と呼ばれるデザインで、木地を彫刻して錆漆(砥の粉をまぜた漆)を塗り、漆を塗っては磨くことを繰り返した後、古味(灰墨)を溝に付けて仕上げる。サイズ:5.5×39×60cm

(青井記念館美術館は、富山県立高岡工芸高等学校付属の美術館です。鯛盆は常設展示されていませんのでご注意ください。)

**FUTAGAMI**

株式会社 二上  
富山県高岡市長慶寺1000 TEL. 0766-23-8531 FAX. 0766-26-5614  
http://www.futagami-imo.no.co.jp/

高岡のものづくりに会える店

漆器 **くにもと**

www.kunimoto-japan.com  
〒933-0030 富山県高岡市中央町13 TEL:0766-21-0263

momentum factory orii

(有)モメンタムファクトリー・Orii

933-0959  
富山県高岡市長江530 折井着色所  
TEL 0766-23-9685  
FAX 0766-23-9696  
E-mail info@mf-orii.co.jp

WEB  
http://www.mf-orii.co.jp/

ONLINE STORE  
http://www.shop-orii.com/

tone  
http://tone-orii.com/

tone momentum factory orii

Products

Building Materials

## 高岡と文化財

高岡御車山祭の御車山行事 **【ユネスコ無形文化遺産】**  
**【国重要有形・無形民俗文化財】**  
 木造男神坐像 **【国重要文化財】**

## 世界に認められ、世界へ発信した、高岡のふたつの宝



高岡御車山祭 (国重要有形・無形民俗文化財)  
土蔵造りの町並みである「高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区」を、  
金工・漆工などの技をこらした高岡御車山が巡行する。

### 「高岡御車山祭の御車山行事」が ユネスコ無形文化遺産に登録

2016年、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に、「高岡御車山祭の御車山行事」を含む33件の「山・鉾・屋台行事」が登録された。これは、文化の粋をこらした華やかな「山・鉾・屋台」が、神霊の依り代となり、地域の安泰を願う巡行する祭礼行事として評価されたものである。

高岡御車山祭は、高岡を開いた加賀前田家二代当主の前田利長が御所車を高岡町民に与え、城下を曳き回らせたのが始まりと伝えられる。

毎年5月1日、高岡御車山が山町を巡行する。神の座としてふさわしく美を極めた御車山は、一文字笠にあさみしも麻袴の山役員たちに前後左右を守られ、ゆつくりと曳き回される。

山町十ヶ町の文書には、「御車山の奉曳は厳肅盛大に行うものとす」とある。厳かさと華やかさ。そこに、神を迎える祭りの本質があり、町の安泰を願う人々の祈りがある。

また、囃子方や曳き手などを近隣の住民が担うなど、地域と深く結びついてきたことも評価された。さまざまな人々が力を合わせ、受け継ぎ、高岡は御車山祭を400年以上守り続けてきた。

### 二上射水神社の木造男神坐像がローマへ

毎年4月23日、二上射水神社で「築山行事」が行われる。境内に臨時の祭壇を築いて神を迎えて行われるが、これが御車山祭の原点ではないかとされている。

二上射水神社の御神体は、「木造男神坐像」である。ケヤキ材の一木造りで、平安時代後期の作とされる。鈍彫りの彫像で、顔には丸ノミの跡が残り、衣服は平ノミでなめらかに仕上げている。

2016年7月、ローマで開かれた文化庁主催の海外展「日本仏像展」に、全国から21件選ばれた中で、北陸から唯一この木造男神坐像が展示された。

高岡は、有形・無形の文化を数多く受け継ぎ、まちと人々の心を深く豊かにしているのである。

「高岡御車山祭」  
日時/毎年5月1日 11:00曳揃い 12:00勢揃い  
場所/巡行:高岡市中心市街地  
勢揃い:片原町交差点

「高岡御車山会館」  
年間を通して高岡御車山が展示されている。  
開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
有料ゾーン観覧料/一般(高校生以上)300円  
休館日/火曜日(祝日のときは翌平日)、年末年始  
住所/高岡市守山町47-1 TEL.0766-30-2497

「二上射水神社」  
住所/高岡市二上1519



二上射水神社の築山行事  
(県無形民俗文化財)



木造男神坐像(二上射水神社蔵)  
毎年4月23日の春季祭礼時に公開される  
(国重要文化財)